

2026年9月3日(木)、4日(金)の2日間にわたり、石川県小松市の「團十郎芸術劇場うらら」にて中堅幹事研修会を開催しました。

各地区幹事長からの推薦を受けた5名が集い、指導講師や班世話人とともに密度の高い研修を行いました。

■ 研修の背景とねらい

①中堅層不足への対応

- ・各社での幹事派遣サイクルの短期化に伴い中堅幹事層が薄くなっている現状への対策として実施。

②力量に応じた積極的推薦

- ・幹事歴にとらわれず、社内業務や地区活動での力量・意欲を見極め、意欲的な人材を推薦。

③推薦制による意欲向上

- ・地区・支部からの推薦という位置付けが、参加者の誇りと研修への高いモチベーションに結びついています。



■ 講義セッション：本質を捉え、現場を動かす視座を養う

支部役員が講師・班世話人を務め、座学と事前課題を結びつけた実践的講義を展開しました。

講義Ⅰ QCストーリーの本質

単なる手順論にとどまらず、「なぜそのステップが必要なのか」の目的と本質を徹底解説。

- GD1 事例研究
実例を基に真因追究の深度を検証
- GD2 自社運営の共有
他社の推進ノウハウを相互吸収



田辺支部副世話人

講義Ⅱ 事務局・現場推進者の役割

推進者が職場の伴走者としてどうあるべきか、組織を牽引するリーダー像を明示。

- GD3 あるべき姿
現場の停滞を打破する姿勢を議論
- 課題への処方箋
自社の困りごとに対する打開策の検討



松浦支部副世話人

■ グループディスカッション(GD)と成果発表



- GDによる濃密な対話：
事前課題に基づき、各社が現場で直面している推進上の悩みや工夫を率直に開示
- 共通課題の解決策導出：
「活動のマンネリ化防止」や「時間外活動の制約」など各社共通の難題に対し、他社の好事例から解決のヒントを獲得
- 成果発表と講評：
班で導き出した「事務局・現場の推進者のありたい姿」を発表
班世話人や支部世話人からの的確な講評を通じて学びを深耕

■ 意見交換会(人脈づくり・相互啓発)

互いの経験知や現場課題を深く掘り起こす相互啓発の場とするため、全員による「1分間スピーチ」を意図的に導入しました。
各自が「現場でのリアルな葛藤や失敗談」、「推進者として大切にしている信条」など多様な切り口で本音を発信し、それぞれの熱い想いが共感を呼び、会場全体が活気に満ちた非常に熱い時間となりました。



■ 参加者の声

- ・とても参考になる研修会でした！ありがとうございました
- ・どんな感じなのかなと思っていましたが、前向きに楽しく受講することができました。
新たに学ぶことがあり、レベルアップした気分です！
- ・とても楽しく受講できました！ありがとうございました！